

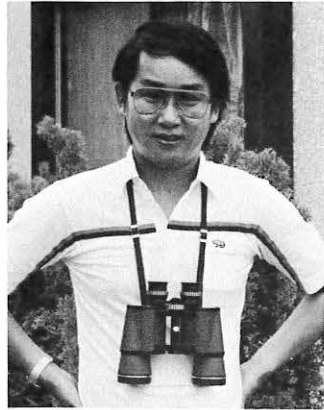
なきごえ



1984

8

大阪市
天王寺動物園協会



中川 宗孝

あれは私が小学校の低学年の頃である。先生におやつはどんなものを食べているのかと聞かれた時、素朴そのものだった私は「昨日はおばあちゃんにアカガエルをピンヤキに

してもらった」と実にハキハキ答えたものである。その時の女の先生の顔色から、子供心にも不安になり、近くの友達に同意を求めた「アカガエルは喰えるもんな」との一言が、完全に教室を沈黙にふしてしまっただけを覚えている。以後小生を見る世間の眼が変わったのはいうまでもない。なおそれは不幸な事にいまでも続いているのだ。

ふた昔の歳月を経て、郷愁にも似た想い出をたぐりよせながらその可憐なる食生活を語ると、まず何といってもハチの仔である。竹竿でアシナガバチの巣をたたき落しては一目散に逃げるのだ。二、三回に一度は洗礼を受け、男前がだいなしになる事など苦にもならない程、サツといたため醤油で食べるハチの仔はうまかった。今や社会的名誉を重んじる小生、今更竹竿を振り廻しハチの巣を襲う訳にもいかず、ハチとはごく近い兄弟分のハエの仔をながめては用を足している現在である。念の為ことわっておくとこちらの方は未だに食してはいない。

又食卓には好むと好まざるにかかわらず川の幸があった。川の幸といってもなまじな物ではない。わが親父は人呼んで恐怖の木津川漁師モドキという。その獲物たるや漁法同様実に多彩を極めた。季節も真冬の寒バヤ、川エビ、夏場の鮎、鰻、スッポンに

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

なきごえ8月号もくじ

動物と私 2
 “袋の中はもう一杯” 3
 動物園グラフ・動物園日記 4・5
 北イエメンからの便り 6・7
 ガラパゴスの爬虫類 8・9・10
 動物園ニュース 11

★★★★★★★★★★★★★★★★★★★★

代表されるごとく、春夏秋冬木津川もうでの親父に、物心つく頃からついて行ったものだった。その奥儀を伝授された私も今や二児の父親、そして社会人として多忙な日々を送ってはいるが、夏場のスッポン漁だけはかかした事がない。ドジョウを餌にしたツケバリと網モシドリで上流は奈良県境、下流は淀川合流に至る迄、ひと夏百枚は揚げるだろうか……時に生活の糧となり、そして現在の活源、酒の肴たる天然スッポンの数少ない豊庫木津川、ここで独自の漁法を伝授され今やわが二世に伝承すべく使命感に燃えている昨今である。

更に伝承すべくなくなったものにはツグミ捕りがある。柿の実が熟す頃その木の下にミミズやケラを餌にしたネズミ捕り式のパチンコをしかけるのだ。お客はヒヨドリ、モズといった連中も混じる。知識欲旺盛なる少年は、鳥の翼のしくみやくちばし、舌、骨格に至る迄鋭く観察するのである……羽をむしりながら……そしてピンヤキと称するつけ焼きは実に絶品ノしかしあの素晴らしいツグミ達の為に一大決心をした小生は、遂に行動を起こしたのであった……汗ばむ掌、スコープをみやり人差し指に力を込める……バシッ!!……シャッターはおりた。密猟などともゆるめられない現在、双眼鏡とカメラを傍らに野鳥を追いかける生活へと変わってしまった。

いつまでもスッポンや鮎の捕れる木津川の清流を残したい。緑や環境を守りもっともっと野鳥を増やしていくの日か再び……あんなに美味しいツグミや野鳥を絶滅させてはならない!!今日もヨダレをたらしながら双眼鏡をのぞく小生は現在、自然保護協会、野鳥の会に於て唯一不純な動機の入会者である事は、まず間違いのない事実であろう。

(ナチュラリスト)

表紙の写真説明

“モイロベリカン”

大きい体に赤くて小さな目。ユーモラスな風貌には人気があります。南ヨーロッパ、アフリカ、南アジアに分布しています。

(撮影：中川哲男)



“袋の中はもう一杯”

順調に育っているハイロカンガルーの赤ちゃんは、6月9日初めて袋の外に出ているのが確認されました。しかし何かにびっくりするとすぐにお母さんの袋の中に逆戻り。大きな赤ちゃんにお母さんの袋は地面につきそうです。

(撮影：宮下 実)

動物園グラフ



昭和58年7月22日
生後1日目
お母さんのオッパイをさがしています。



昭和58年9月16日
生後2ヶ月目
初めて放飼場に出して、一般公開しました。



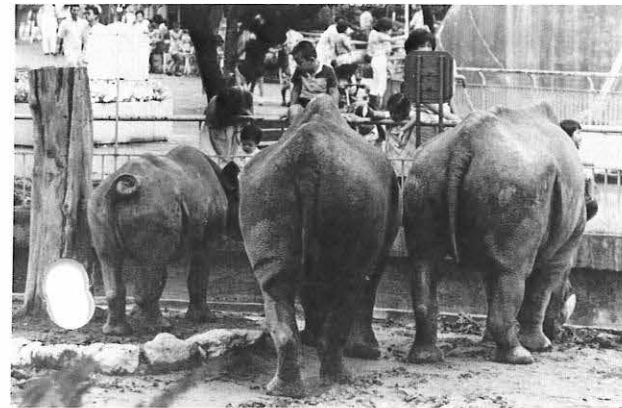
昭和59年1月21日
生後6ヶ月目
放飼場を駆けまわっているところです。



昭和59年3月21日
生後8ヶ月目
体も一段とたくましくなってきました。

“満1才を迎えたサイ太”

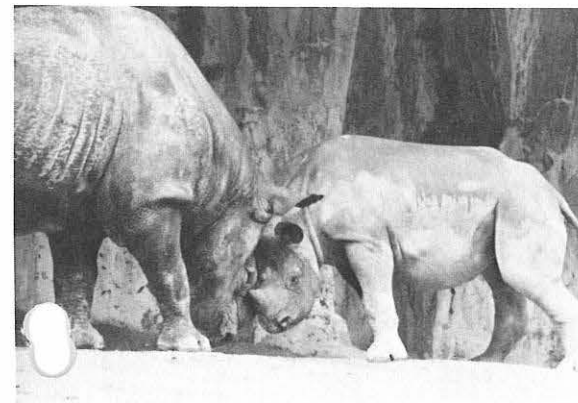
昨年7月21日に生まれたクロサイのサイ太が、この7月で満1才の誕生日を迎えました。この1年間のサイ太の成長ぶりをグラフで特集してみました。



昭和59年7月10日
左からサイ太、母親のサッチャン、父親のサイ王。
もうまもなく1才の誕生日です。



昭和59年7月10日
食欲も旺盛。



昭和59年7月10日
4月9日に父親のサイ王と初めて一緒にしましたが、最近角の突きあわせの相手をしてくれます。



昭和59年7月10日
ボクたち仲のよい母子だね！

6・7月の動物園日記

- 6 / 11. ニホンザルが1頭生まれました。本年これが9頭目です。
第1回天王寺動物園70周年記念行事委員会が行なわれました。
- 6 / 12. 昨年8月にふ化したキングペンギンのヒナが自力で採食を行なうようになりました。
アマサギ1羽を、コウノトリ舎に展示しました。
- 6 / 13. 浪速第5保育所の園児50名に対して触察を実施しました。
- 6 / 15. マナヅルが産卵し、抱卵をはじめました。

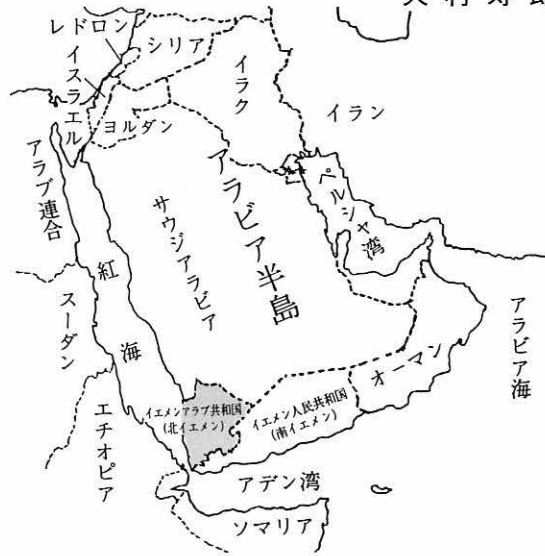
- 6 / 16. 保護飼育していたキジバト2羽を放鳥しました。
- 6 / 17. 第1回ボランティアサマースクール研修会が開催されました。
ツバメ1羽、コシアカツバメ1羽を保護しました。
ウスズミハッカが2羽自然ふ化しました。
- 6 / 18. 本年繁殖したシュバシコウのヒナ4羽に脚帯をつけました。
- 6 / 20. 12年飼育しているベンガルヤマネコの雌が急性肺炎と子宮蓄膿症で死亡しました。
- 6 / 21. オオヅルが本年2卵目を産卵しました。
本年4頭目のニホンジカが生まれました。

- 6 / 23. 屋外ペンギン舎の改装工事のため、4種16羽のペンギンをオグロワラビー舎放飼場に仮収容しました。
- 6 / 24. キーウイの体重測定を行ないました。
第2回ボランティアサマースクール研修会が行なわれました。
- 6 / 25. クロオオカミ“美美”の瞬膜切除手術を行ないました。
- 6 / 26. フタコブラクダ“サクラ”が1頭出産しました。
虚弱のため生まれた子は起立できませんでした。
- 6 / 27. 昨日生まれたフタコブラクダの子は、依然起立ができないので、人工哺育することに

- しました。
- 6 / 29. 雌のタンチョウ1羽が、横浜市野毛山動物園へ繁殖を目的として貸出されることになりました。
- 6 / 30. フタコブラクダの子の乳量は順調に増加していますが、まだ立てません。
- 7 / 1. 第3回ボランティアサマースクール研修会が行なわれました。
- 7 / 3. なきごえ編集会議を行ないました。
- 7 / 4. 今月1日よりフタコブラクダの子の衰弱が著しいため治療をしていましたが、残念にも肺炎で死亡しました。
- 7 / 4. 16羽のペンギンを元の飼育舎に戻しました。

北イエメンからの便り

大村 寿郎



私は昭和59年1月から1か年の任期で大阪市から国際協力事業団を通じ、北イエメン（イエメンアラブ共和国）都市住宅省に派遣されています。

任地では公園計画や都市景観対策などの技術指導を行っています。

私の専門は植物を取扱う分野ですので動物を扱う動物園の方々とは、扱う物こそ違え生き物を扱うという点では共通していると思います。その関係が物の考え方や物の受止め方にもどことなく動物園の方々と共通する部分があり、動物園のみならず方と親しくさせていただいております。

最近になって全国の自治体間でオーストラリアの珍獣コアラへのラブコールがくりひろげられましたが、コアラの受入れ条件の1つとしてコアラの飼料として必要なユーカリ樹の種類をそろえらるとともに十分な量を確保することが言われております。そこで私の所属していた緑化課が中心となってユーカリ樹の栽培計画を立てることになり、動物園の方々と緊密な協力体制をとりながら仕事を進めました。その結果、動物園の方々とより一層親近感が増すことになりました。コアラについて動物園はその習性、生理、行動等を研究し万全の飼育体制を整えることはもちろんですが私達はコアラに健康なユーカリを供給するため努力を払うことにより二者が一体となって取組まねばならないと思います。

さて、言うまでもありませんが動物園の意義は単に動物を檻に入れて観客に見せるのではなく、でき

るだけ自然の状態に近い環境で彼等の生態を見せることだと思います。米国のサンディエゴ動物園の基本ポリシーは「花と緑いっぱいの動物園」ですが、この動物園は植物園の中にある動物園と表現してもおかしくないほど花と緑がいっぱいで動物だけでなく植物のコレクションにも力を入れています。

前置きが長くなりましたが任地、北イエメンはアラビア半島の南西端に位置する面積約19万km²（日本の半分）人口約700万人の小国です。この国は非産油国のため1人当たりのG N Pは650ドル（約15万円）と有数の貧しい国です。

地形は西端の紅海沿岸は平野部で、内陸部に入るとつれ高原地帯から山岳地帯となり、さらに東側はルプアルハリ砂漠から緩やかな傾斜地となっています。気候は平野部と山岳部では対照的な相違がみられ、ティハマ平野では時に50℃以上の高温に達することもあり、雨量は年間100mm程度ですが、いっときの降雨で湿度が100%という時もあります。中部山岳地帯は夏は涼しく冬も温和で湿度も低くアラビア半島のなかでは最も快適な地域で年間雨量も、500mm～1,000mmです。



サナ市内で見かけた牛

この国の歴史をちょっと紹介してみよう。イエメンは現在、南北2カ国に分かれています。以前は1つの国で、その昔「至福のアラビア」と呼ばれ、ほとんど全土が砂漠のアラビア半島にあって比較的豊かに恵まれた地域でした。ここには紀元前13世紀から紀元前6世紀にかけて、ミナ王国、シバ王国、ヒムヤル王国の3つの古代国家が栄えました。この王国の繁栄を支えたのは、南アラビア特産の香料やインド、東アフリカの産物を古代ローマ帝国に運ぶ交易路である「第2のシルクロード」と呼ばれた「スパイスロード」がイエメン国土を通過し、こ

の国に商業が栄えたことと、良好な自然条件が肥沃な農業地帯を生み出したことでした。

この3つの王国のうち、イスラエルのソロモン王の子を宿したといわれるシバの女王が支配したシバ王国（紀元前950年～紀元前115年）が有名です。この王国の首都マリーブには大規模な灌漑用ダムが建設され、当時世界最大のダムといわれるこのマリーブダムの遺跡はマリーブ神殿跡とともにシバの女王の権力の大きさと、往時の王国の繁栄ぶりを今に伝えてます。その後イエメンはエチオピアの侵入をうけ最後の王国であるヒムヤル王国もほろびました。7世紀にはアラビア全土を襲ったイスラム勢力の支配を受けましたが、9世紀になってイラクから逃れてきたイスラム教シーア派の一派であるサイド派のラシドが現在の首都であるサナを中心とする山岳高原地帯にラシド



サナ市内の山羊の群れと子供たち

王朝を創設し、この王朝が1962年に共和制が樹立されるまでイエメンを支配しました。現在、この国の経済は産油国（主にサウジアラビア）からの援助と米国をはじめとする先進国からの援助及び国連や世界銀行等からの援助、さらに100万人以上ともいわれる国外へのかせぎ労働者からの国内への送金収入によって支えられています。この国では東西陣営の如何を問わず交流するという外交方針を打ち出しているため、援助国は多国籍間にわたっています。イエメンの主な産業のうちコーヒー栽培はモカコーヒー（モカコーヒーは紅海沿岸のイエメンの港町モカから積出されたのでその名がついた）が有名でしたが、今ではエチオピアに本家を奪われパッとしない現状です。その他の産業としては牧畜がありますが、統計によれば羊と山羊が計1200万頭、牛が100万頭、ロバが60万頭、ラクダが10万頭ということです。私が暮しているサナで日常見かける動物はロバ、山羊、牛、犬、猫くらい

なものです。アラビアを連想させるラクダは市内で2度程見かけただけで、ただ紅海沿岸の平野部にいけばラクダの姿を多く見かけるそうです。山羊は30頭位の単位を山羊使いが街中を引連れて移動しています。それらの山羊が街路樹の葉を食べて街路樹の成育を阻害するのが頭の痛い問題で、そのため防護金網で木を囲っています。

私の住んでいるサナ郊外のハッダ地区には多少の緑があり、ハッダの森と呼ばれています。ここでは夜間にキツネが道路を横切るのを見たという話も聞いています。アラビアではロバというと蔑視の対象になっています。ロバの従順で黙々と働く性質がアラビアの略奪文化になじまず、さげすまれるのでしょう。彼等のロバに対する扱いは残酷で、蹴られ、鞭打たれたロバは悲鳴のような鳴き声をあげていま



ハッダの森のロバ

す。この他、軒先にスズメに似た鳥が巣をかけるなど、めずらしい種類の鳥が市中で見られます。

イエメンには現在、動物園はありません。しかし、イエメン第2の都市、タイズには総合公園の計画があり、プール、球技場、動物園等の建設が考えられています。私も動物園計画についてのアドバイスを求められましたが「動物園を建設し、珍しい動物を集めるのは金と時間があればやってやれないことはないが、それ以前に飼育技術の習得と恒久的な飼料の確保ができる体制づくりが肝心であり、まず風土になじむ動物から徐々に始めるのが最適です。」と答えておきました。

誌面の都合上と私の動物に対する知識の浅薄さから大半が北イエメンの紹介に終わり本誌の趣旨から大幅にはずれましたことおわび申し上げます。

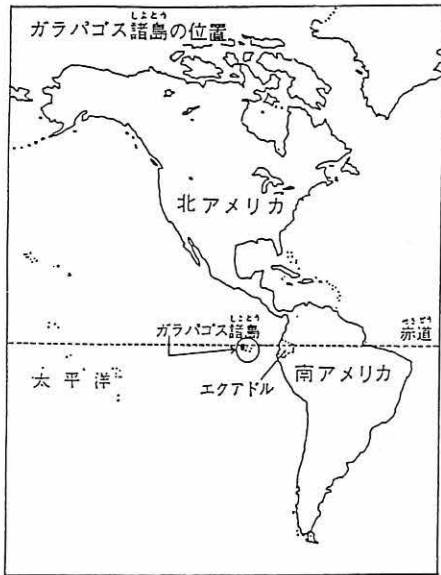
北イエメン、サナ市にて
国際協力事業団出向（前公園局緑化課勤務）

ガラパゴスの爬虫類

ドナルド・ブラッドショー

§ はじめに

イギリスの若き科学者、チャールズ・ダーウィンがビーグル号でガラパゴス諸島を訪れて以来、自然史を学ぶ者にとってガラパゴス諸島は大いなる興味の対象となりました。そして、ダーウィンが彼の書、「種の起源」で主張した理論は彼がガラパゴスで見た様々なものや現象によって触発されたものと広く信じられています。



この火山諸島は南アメリカ大陸から常に隔離されていたため、この島に辿り着いた動物達は自然に、そして何ら妨げられることなく独自の進化を遂げました。気の遠くなる程の長い年月を経て行われた進化は素晴らしく壮観なドラマでした。そして、動物も植物も諸島内の各島の環境に合わせて進化を遂げ、各島に固有のものに変化して行っただけです。

私は5年前、ガラパゴスを訪れる機会を得、そこに住む風変りな動物達を眼のあたりにし、特に鳥類と爬虫類について調べることができました。

§ 風変りな鳥達

ガラパゴスの動物の中で最も有名なものは巨大なゾウガメと、陸と海に住むイグアナでしょう。しかし、ガラパゴスは野鳥の宝庫でもあります。

かの有名なダーウィンフィンチは現在13の種に分

類されていますが、もとは一種の鳥から進化し、分化していったものと思われます。

ガラパゴスコバネウは進化の過程で翼を失った鳥です。つまり、コバネウのエサは魚やタコなどですが、それらは島の近くで簡単に獲ることができます。そこでコバネウはエサを求めて遠くへ飛んで行く必要がなくなったわけです。

ガラパゴスペンギンは熱帯に分布する唯一のペンギンです。(その他のペンギンは南半球、特に南極とその周りの亜南極圏に分布しています。)ガラパゴスペンギンは南アメリカ大陸の南部で見られるペンギンによく似ています。これは明らかにガラパゴスの島々を洗うフムボルト寒流に乗ってこの島々にやって来たものです。



サンタフェ島のリクイグアナ

ガラパゴスに住む鳥類や哺乳類も大変興味深いのですが、本稿のメインテーマはガラパゴスの奇妙な爬虫類についてです。

§ ガラパゴスゾウガメ

ゾウガメはかつては南アメリカに広く分布していました。しかし、その肉や油を求めて人間が狩り続けたため絶滅してしまいました。ガラパゴス諸島以外で唯一ゾウガメが見られる所はインド洋に浮かぶアルダブラ諸島です。よく、どうやってこれらのゾウガメが大陸から離れた島々に辿り着いたのかと聞かれます。あるひとつの考えは(そしてこれが恐らく最も納得できるのですが……)洪水の際に河を下って来た大きな丸太に乗って流れついた、というものです。ゾウガメがかなり長い期間、絶食絶水に耐え

られるということは衆知のことです。捕鯨船団はかつて、よく航海の途中ガラパゴスに寄り、ゾウガメを捕え、乗組員に新鮮な肉を供給するため、船内の小屋で飼っていたものです。

ガラパゴスゾウガメの祖先がガラパゴス諸島のいくつかの島に流れ着いた時、彼らはそれぞれの島の環境に適応しなければなりません。というのもガラパゴスの島々はそれぞれその島独自の気候や植生を持っているからです。ゾウガメは草食性の動物です。ですから、各島のゾウガメの進化にとって植物は重要な要因となってきます。例えばエスパニョーラ島を例にとると、このガラパゴスゾウガメの甲羅は乗馬用の鞍のような形をしています。



ガラパゴスの不毛の島で見られる鞍状の甲羅を持つガラパゴスゾウガメ

この、前が高くなった甲羅と長い首のおかげで、ゾウガメは首を長く、高く伸ばし、この不毛の島に生えるウチワサボテンのたっぷり汁気を含んだ葉を採ることができるのです。しかしまた、ウチワサボテンの方もイグアナやゾウガメから自らの身を守るため、その体の特性を変えました。つまり茎の周りに樹皮を形成するようになったのです。こう変化したのはガラパゴス諸島のウチワサボテンだけです。鞍状の甲羅を持つゾウガメの亜種はフェルナンディナ島、ピンソン島、ピント島などでも見られます。

ガラパゴスゾウガメはかつて、そして今でも人類の干渉という脅威にさらされています。まず初めに捕鯨をする人々がゾウガメを狩りました。次いで入植者が持ち込んだヤギや犬のうち、多くのものが野

生化し、ゾウガメの住処を破壊しました。また、その他にゾウガメは火山活動という天災にも直面しています。



外皮がはがれかけたリクイグアナ・ブラザ島にて

ガラパゴス諸島は世界中で最も活発な火山島のひとつでもあります。イサベラ島にある休火山、アルセード火山のクレイターに大きなゾウガメの繁殖コロニーがありますが、アルセード火山の隣りの休火山が数年前、爆発しました。これがもしアルセード火山だったらガラパゴスゾウガメの最大の生息地が破壊されていたところでした。

§ ウミイグアナとリクイグアナ

イグアナは2種に分けられます。ウミイグアナとリクイグアナです。リクイグアナの方は今でも南アメリカで見られますが、ウミイグアナの方はガラパゴス諸島の固有種です。ウミイグアナがリクイグ



お腹を地面から上げ、溶岩の上で太陽に向って立つウミイグアナ達

ナから進化したという説には少し疑問があります。

ウミイグアナは島の溶岩でできた海辺で群を作っているのがよく見られます。彼らの食物は水面直下の溶岩に生える海藻ですが、ウミイグアナはその名前にもかかわらず水の中にはあまりいません。というのは、島を取り巻く海に彼らを襲って食べるオットセイやサメがいるからです。ウミイグアナは温度に大変敏感であるため、いつも太陽に向かって立っています。こうすると太陽光線が体にあたることを最少限におさえられるからです。さらに空気が体をうまくよわるように常にお腹を岩に着けず、上げています。また、断面が縦に平らになった、魚の胴のような尾を使って泳ぎます。そして、指には鋭く、丈夫な爪をもち、陸上でも、水面下で採食する時も、この爪を使ってしっかりと岩につかまります。こうすることによって、波が激しく岩にあたっても体を支えることができるようになっています。また、ウミイグアナは海水を飲みますが、眼と鼻の間に海水を淡水化することを助ける特殊な腺を持っています。

もし彼らが死んだ場合、その遺骸はベニイワガニやガラバゴスノスリが直に食べてしまいます。

絶滅の可能性のあるリク



数が大変少なくなったガラバゴスノスリ

イグアナと違い、ウミイグアナは島の周囲の海岸に沢山いますので、絶滅することはないように思えます。

リクイグアナはガラバゴス諸島のトカゲの中では最大のもので、ガラバゴスゾウガメと同様、草食性です。これもまた島によって亜種が異なります。私は全長が1.5mもあるリクイグアナがウチワサボテンの葉をちぎり、食べる前に数分かけてトゲをかき

落とすのを観察しました。リクイグアナは素速く動くことができますが、人を襲うことはありません。しかし、彼らはテリトリーを持つので、侵入してきたものに対しては戦いを挑みます。時にはかなりひどい傷を負わせることもあります。リクイグアナは現在、野生化した犬に襲われ、彼らのエサは野生化したヤギに奪われています。ですからリクイグアナが見られるいくつかの島から、これら野生化したイヌやヤギを駆逐しない限り、絶滅することも考えられます。

§ 保護されるガラパゴスの自然



サンタフェ島のリクイグアナ
ウチワサボテンの茎に形成された樹皮にご注目!!

ガラパゴスの野生動物は人に襲われることがなかったせいか、比較的人を恐れませんが、鳥や爬虫類のすぐ近くまで近寄ることができます。幸いなことにエクアドル政府はガラバゴス諸島を守るため、ここに国立公園を設けました。島を訪れるには特別な許可が必要で、許可証を得た上で熟練したナチュラルリストと一緒にしてもらわなければ上陸できません。

ガラパゴス諸島がそこに住む野生動物のサンクチュアリーであり続け、そしてその進化のプロセスがこれからも永遠に残るということは考えただけでも大変素晴らしいことだと思います。

(日本野鳥の会会員)

訳：長瀬 健二郎

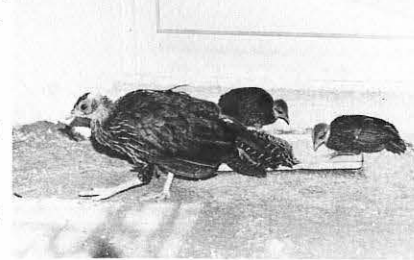
動物園ニュース

§ ウズミハッカ、ミヤマハッカ自然ふ化

本年3月のキジ舎完成以来、数種のキジが自然抱卵してきましたが、ハイロコクジャク、ベニジュケイに続いて、6月18日にウズミハッカ、7月9日にミヤマハッカが、それぞれ自然ふ化しました。

ウズミハッカは、ミヤマハッカの亜種で、ビルマ東部、タイに生息するキジです。5卵産卵し、5月24日から本格的な抱卵に入り、抱卵開始後25日目の6月18日には、1羽のヒナがふ化しているのが確認され、翌19日にはもう2羽ふ化していましたが1羽は死亡しました。残る3卵は残念ながら、いずれもふ化直前の後期中止卵でした。

一方、ミヤマハッカは7卵産卵し、6月中旬から抱卵に入り、7月9日には4羽のふ化が確認されました。翌10日にはもう1羽ふ化しており、合計5羽のヒナがふ化しました。残りの2卵は無精卵でした。



いずれも、母親の後をつけて歩く姿はたいへんかわいらしく、人気を集めています。母親の愛情につつまれ、順調に育成していくことでしょう。

§ 今年のシュバシコウの繁殖結果
毎年、数羽の繁殖に成功しているシュバシコウですが、今年の繁殖記録は、次のような結果となりました。3月上旬から、10番が営巣し、合計41卵の産卵が確認されました。しかし、ふ化したのは4巣のみで、10羽だけでした。6月18日には個体識別のための脚帯装着を兼ねて育成したヒナの数を確認するため、巣台に登りましたが、結局2巣で1羽と3羽の計4羽が育成しただけでした。その後、1羽が7月12日に巣立ちしました。まもなく、残る3羽も巣立ちすることでしょう。

現在の飼育動物数

(1984年6月30日現在)

哺乳類	10目	98種	383点
鳥類	20目	195種	644点
爬虫類	3目	37種	117点
計	33目	330種	1,144点



この他水禽放養舎では、今年アオサギ4羽とカナダガン4羽が自然ふ化しています。コサギは3つ巣を作りましたが産卵ふ化には至りませんでした。また人工ふ化でアカハシハジロが1羽育成しています。

§ ペンギン舎リフレッシュ
夏期の動物舎補修工事の一環としてペンギンの屋外プールの改修が行われました。

工事に先立つ6月22日に、マゼランペンギン1羽、フンボルトペンギン2羽、ケープペンギン7羽、フンボルトペンギンとケープペンギンの雑種ペンギン6羽の計16羽のペンギンたちを、一時マレーバクの横に仮収容しました。

改装なったペンギン舎は岩山は白色に、プール部分は青色に塗装され、見ちがえるように美しくなりました。7月4日には工事も終了しペンギンたちをもどしましたが、あまりの環境の変化にペンギンたちはとまどい気味で、2日ほどは水にも入りませんでした。今では美しくなったプールで泳ぎまわっています。



§ タンチョウ(メス)横浜へ。
6月29日、タンチョウのメス1羽が、共同繁殖のため横浜市野毛山動物園へ送り出されました。野毛山動物園では中国の上海動物園から来園した雄1羽だけが飼育されており、一方当園ではメスの飼育数が多いので、共同で繁殖させる話し合いがまとまり、メス1羽を貸し出すことになりました。貸し出されたメスは1982年5月25日に当園でふ化したものです。きっと数年後にはヒナ誕生のニュースが横浜から送られてくることでしょう。

* 休園日のお知らせ *

動物園の休園日は毎月第3月曜日です。10月までの休園日は下記の通りです。
8月20日(月)、9月17日(月)、10月15日(月)、
開園時間は午前9時30分～午後5時で、午後4時に切符売止めになります。

すてき満喫

近鉄クレジットカード



- 全国の近鉄百貨店グループ・都ホチチェーンなどでワイドにお使いいただけます。
- カードをご提示いただいただけで30万円までのお買物をお楽しみいただけます。
- 繰り延べ払い(リボルビング方式)・一回払い・ボーナス一括払いの3つのお支払い方法がございます。
- 入会資格は20歳以上で2年以上お勤め、または自営の方です。

近鉄百貨店

お申込み・お問合せは各店クレジットセンター
アベノ店・上本町店・東大阪店・奈良店・西京都店・東京店

近鉄百貨店グループ

四日市近鉄・京都近鉄・岐阜近鉄・枚方近鉄・和歌山近鉄・近鉄松下(徳山)・別府近鉄・三交百貨店(松阪・伊勢)・近鉄東海ストア

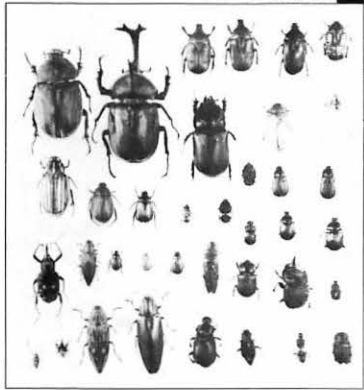
ひかりのくに

監修・阪口浩平
指導・宮武頼夫

●オールカラー

むし

くらしとかいかた



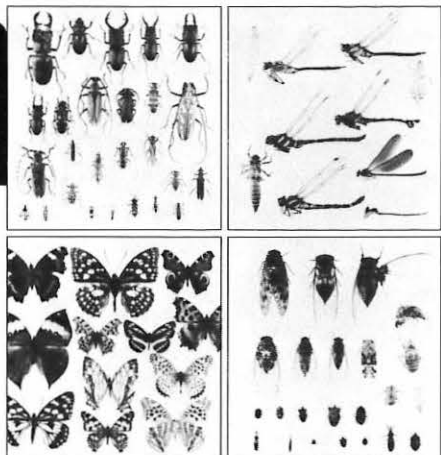
今まで、気にもとめなかつた自然の中で昆虫たちが生きている。みんなも、虫になって自然の中を歩いてみよう。

きょうとすばらしいことに出会えるはずだ。

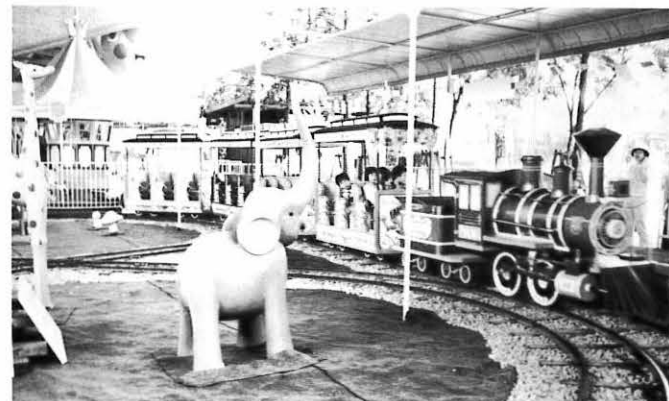


B5変形 84ページ 580円

ひかりのくに株式会社
〒543-8501 大阪市天王寺区上本町3-2



たのしいのりものが待っています。



- 1人1回 100円 (1才まで無料)
- 団体割引 (30人以上) ……1割引

久竹娛樂株式会社
TEL (06) 541-3112

◎園内3ヵ所(南園入口横、北園ステージ横、北園高架下)に各種のりものがあります。

天王寺動物園の機関紙

月刊 **なきごえ**

ご購読をお奨めします。
年間購読料 1,100円 (含、郵送料)

お申し込みは、**大阪市天王寺動物園協会**へ
TEL 06-771-0201

世界初の最高感度 (カラープリント用フィルム) 1600 新登場!



カメラの大林
桜橋本店 ☎341-8091
三番街店 ☎372-5031

フジカラー HR 1600

ISO1600/33° 135-24枚撮

◎ 動物のことなら あらゆることにお役に立ちます。

- 飼育指導 (ペットよろず相談)
- ふれあい子供動物園
- ふれあい動物写真会
- 撮影用動物モデルリリース
- 動物(ペット)、教材用生物販売、リース、交換、引取り、預り
- 各種飼料、器具販売、配達

自然から学ぶおもいやり **株式会社 アニマ** (いきもの110ばん)

☎ **06-863-1025** (代表)

〒561 豊中市利倉2丁目22-2

全国の愛犬家の共感を呼ぶ
無比の愛犬歌集 (絶賛再版)

歌集 犬の歌

動物文学会主宰
平岩米吉著 (天金美装・箱入
B6判・270頁
2500円・平不要
直接申込で)

著者が、約40年の間に、共に暮した70余頭の
犬の生と死を歌った419首を収録。同時に、そ
の誕生より老齢に至る写真47図を収め、犬の
一生の生態写真集でもある。

動物文学会 〒152/東京都目黒区自由が丘3-12-2
電話(03)717-1659・振替東京5-9800

日本図書館協会選定
全国学校図書館選定

狼

その生態と歴史
犬科生態研究所長
平岩米吉著

A5判・320頁・
口絵挿絵等140図
定価2800円・〒300円

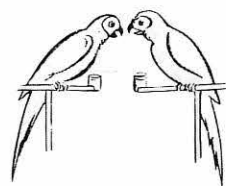
待望の日本狼の正史ついに完成!
〔改訂四版〕

☆犬科動物の研究者として、当代随一の著
者が、数十年にわたり収集した正確な資
料を、生態学の目をもって描いた空前の書。
☆日本狼は、大口の真神とあがめられた古
代より、のちには病狼と恐れられ、やが
て絶滅に至るまでの経緯を詳述。

主な目次

序狼への幻想と現実	5 狼の伝説
1 犬科の分類と解説	6 日本狼の特徴
2 犬と狼の関係	7 日本狼の絶滅
3 日本狼の歴史	終狼を飼った人々
4 狼狩の記録	

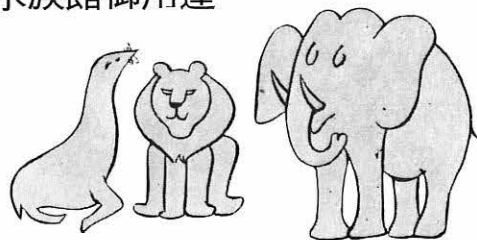
発売 (株)池田書店 東京都新宿区弁天町43番地
振替・東京4-165425



鳥獣輸入

全国動物園水族館御用達

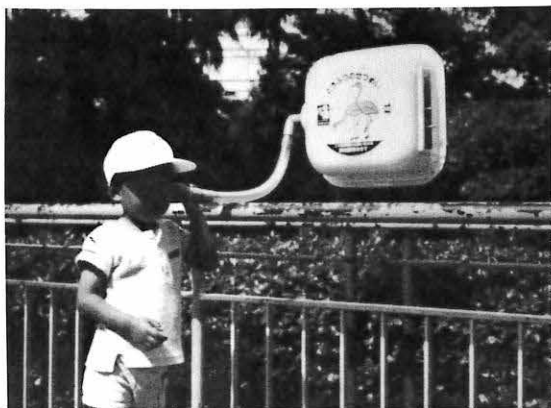
- ・医学実験用動物
- ・愛玩犬、猫直輸入
- ・宣伝用、テレビ用、貸動物
- ・教材用鳥獣剥製販売
- ・原色世界雑類図鑑(34種1枚もの)要郵便券150円・鳥獣価格表100円



有限会社 吉川商会

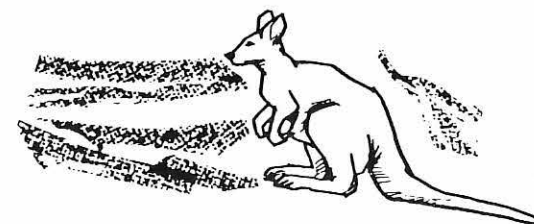
本社 神戸市生田区中山手通三丁目二八番地 電話(078)221-8195・221-1517
飼育場 神戸市葺合区神仙寺通三丁目一番地 電話(078)241-3494

たのしい動物のお話は、
ガイドマシン(動物説明機)で、どうぞ!!



園内、主要動物舎
30数カ所にあります

関西特機株式会社
電話 06-762-2333
1回 20円

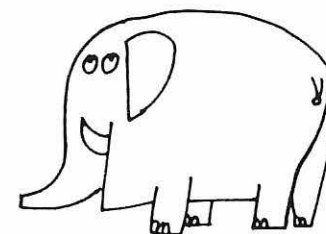


……………ぼっちゃん
……おじょうちゃん
どうぶつえんへ……………
いらっしやいませ……………
ごきゅうけいは……………
おしょくじは……………

動物園内北園 中央売店

☎(06) 771-0973

天王寺動物園内

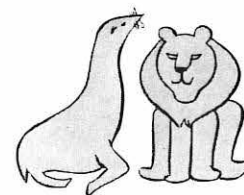


南園売店

代表者 松谷良子

大阪市天王寺区茶白山町6-74
電話(06) 771-7110番

園内でのお写真は…
動物園協会指定写真部へご用命下さい!!



カラー写真 キャビネ1枚 500円

撮影無料にてキャビネ1枚をサービスさせて戴きます。
撮影予約も受付しておりますのでご連絡下さい。

◎随時係員が待機して
おりますのでご説明
に伺いました際は、
よろしくお願い致し
ます。

国際航空写真株式会社
TEL 06-856-7444

